

さとボラ(ふるさと応援団)報告

「長谷ゆずの里づくり」へ ～中丹の農村発！ふるさと保全自主企画～

長谷自主応援組織「We Love 長谷！」主催 「さとボラin長谷（舞鶴）」開催

6月5日（土）、長谷自主応援組織「We Love 長谷！」が主催する『さとボラin長谷（舞鶴）』が開催されました。舞鶴市長谷集落では通算10回目の「さとボラ」となります。今回も森林ボランティアが同時開催され、15名の「さとボラ」参加者と7名の森林ボランティアが作業を行い、「さとボラ」では、ゆず畑の草刈り、また、森林ボランティアでは、溪流の流木竹の除去作業など、「長谷ゆずの里構想」の実現に向けた「村づくり」作業に汗を流しました。今回初めての参加者もあり支援の輪が広がっています。また、直売会では、長谷米、季節の野菜、「長谷小唄」や「We Love 長谷！」のCDなどなど、盛況でした。今後も、長谷集落は「さとボラ」やワークショップなど、「長谷ゆずの里構想」実現に向けた取り組みを進めていきます。



今回の作業はひたすら草刈りです



山椒に実がつけました



ゆずに花がつけました



木陰でつかの間の休息です



新たな参加者も迎えました

※今回の「さとボラ」は、「We Love 長谷！」による企画公募型ふるさと保全活動として実施されたもので、農村の地域活性化の取り組みを推進する「中丹ふるさと再生推進事業」で支援をしています。

管内農林水産情報

平成22年9月24日

中丹広域振興局農林商工部
(担当係:地域活性化担当)

情報区分

一般 緊急 非公開 その他
()

《中丹ふるさと再生推進事業（ふるさとボランティア活動）》
さとボラ in 古屋（綾部市水源の里）を開催!!
～栃の実を、鹿から守ろう!!～

情報提供
を行う
関係課
農政課 農村振興課 担い手支援課
食の安心・安全推進課 農産課
研究普及ブランド課 水産課
林務課 モデルフォレスト推進課
森林保全課 その他 ()

要 旨

去る、8月22日（日）に古屋集落（綾部市睦寄町[水源の里]）で、通算6回目となる「ふるさとボランティア活動」を実施しました。今回の取り組みは、昨年、集落特産品として開発、販売を開始した、素朴な味わいで人気が高まっている『とちの実おかき・あられ』の材料である「栃の実」を鹿の食害から守るため、ボランティアの皆さんと地域の方々が交流を深めながら、鹿除けネット柵の補修及び追加設置作業を実施しました。
集落活性化に向けた栃の実加工特産品の安定生産に、大きな効果が期待されます。

《取組概要》

1. 日 時 平成22年8月22日（日）午前10時～午後4時
2. 参加者 41名
※一般公募による京阪神・中丹管内からの参加者と合わせ、今回は立命館大学と大阪国際大学から13名の学生ボランティアが参加して下さいました。
3. 内 容 「栃の実」収穫に向けた鹿除けネット柵の補修及び追加設置作業
4. 集落概要 ※古屋集落は、5世帯6名、80才以上が5名という超過疎化・高齢化集落
※H21年から地域活性化に向けての取り組みが進められ、昨年11月からは地域特産品である「栃おかき・あられ」の商品化も行い、栃をキーワードに積極的に集落活性化に取り組んでいます。
※6月からは、日展にも入選された京都市内在住の染色画家の方が、古屋集落に二地域居住され、集落活性化取組や管理活動にも参加していただいています。



急斜面ではハードな作業になりました。



ネット補修作業風景



マスクottキヤラもお披露目しました



集落の女性陣から、暮らしの様子や栃の実加工のことをお聞きしました。



記念撮影



日本農業新聞記事

※《中丹ふるさと再生推進事業》は、中丹管内の過疎化・高齢化が進む農山村集落が、地域活性化に向けて自主的に取り組む「都市農村交流活動」や「村おこし活動」等の取り組みを支援しています。

管内農林水産情報

平成22年11月 日

中丹広域振興局農林商工部

(担当係: 地域活性化担当)

情報区分

一般 緊急 非公開 その他

()

情報提供
を行う
関係課

農政課 農村振興課 担い手支援課
食の安心・安全推進課 農産課
研究普及ブランド課 水産課
林務課 モデルフォレスト推進課
森林保全課 その他 ()

平成22年度『豊かなむらづくり全国表彰』で

舞鶴市長谷集落がダブル受賞!!

《農林水産大臣賞、日本政策金融公庫京都支店農林水産事業統括賞》

要言

中丹広域振興局が、《中丹ふるさと再生推進事業》により地域活性化に向けての自主的な取り組みを支援している舞鶴市長谷集落が、この度、表記の表彰をダブル受賞されました。

長谷集落は総戸数11戸19名の過疎化・高齢化集落ですが、審査では「ゆずの里構想」による市民ボランティアの協力を得た都市農村交流活動による取り組みが、全国の同様の過疎化・高齢化集落の活性化の方向性を示唆するものとして、高い評価を得たものです。

今回の受賞は、長谷地区に心を寄せる人々の力が結集した結果であり、今後、益々の集落活性化につながるとともに、H21年度から長谷集落を含めた8集落で取り組みが進んでいる、共に育む『命の里』事業の推進にも更に拍車がかかるものとして期待されます。

《受賞概要》

- 1 受賞団体 舞鶴市「^{ながたに}長谷地区」(区長 ^{じんない}神内 ^{かつみ}克己)
- 2 表彰式 日時 平成22年10月28日(木)午後4時00分から
場所 近畿農政局
- 3 受賞理由(評価された点)

都市住民を引きつけ、共に集落を維持・活性化している点は、過疎・高齢化集落の取組として今後のあるべき方向性を示しており、全国へ発信すべき地区に値するとの評価を得た。

- (1) 過疎・高齢化集落で、耕作放棄地の解消と安定収益を目的に、獣害が少なく健康志向の強いユズを導入。集落外の市民ボランティア団体や地域若手農業者集団「若い衆でやろかい」との協力関係を築き、「長谷ゆずの里構想」を基軸に地域活動を展開。
- (2) 集落の魅力に惹かれて、新規就農者や音楽家が移住し集落に新たな力が生まれている。
- (3) 集落外住民の応援組織が、集落伝統の「日隈地蔵祭」などの活動に積極的に参画し、地元の高齢者とともに盛り上げることで、生き甲斐や潤いのある農村生活が構築されている。



長谷区長が代表で大臣表彰を受けられました



長谷区受賞あいさつ



長谷区出席者三名で記念写真



今西部長に受賞報告

美しいむらつくりに向け、花木の定植作業に励む「さとボラ」たち



過疎の集落に温かい心

さとボラ応援 休耕田に花木

山知市
夜久野町

【京都】少子高齢化が進む福知山市夜久野町小畑地区で12日、京都市内などから訪れたボランティア23人が休耕田に花木を定植したり、獣害防止ネットを張る作業に励んだ。府が進める「ふるさとボランティア（さとボラ）」活動の一つ。同地区でのさとボラ活動は初めてで、地元自治会が主催し、府中丹広域振興局と市が後援した。

同地区は夜久野町北東部の山間地。11戸18人のうち12人が65歳以上で過疎・高齢化が進む。休耕田も増え、獣害による農産物被害も多いことから、美しい元気づけむらつくりを目指した。参加者は募集人員の15人を超えて集まった。

宇治市から長女と参加

した大嶋孝次さん(50)は「ここは初めて。自然豊かで大切にしたい」と思いを語り、ほの花さん(11)も「家の近所は住宅街。山と緑を見ると楽しい。作業も疲れない」と喜んでいった。

晴男さん(57)は「山から休耕田を通してイノシシや鹿が水田やハウス内を荒らす。対応に人手がかかるので助かる」と感謝、「四季折々に花を咲かせ、外部の人が訪れる美しいむらつくりを目指す」と期待を込めた。

自治会長で農家の森澤